

石清水

2014年
Vol.38

学研都市病院
2015年春

回復期リハビリテーション病棟オープン

回復期リハビリテーション病棟とは？

「回復期リハビリテーション病棟」とは、脳梗塞、脳出血や骨折などで脳や脊髄を損傷された患者様に対して、日常生活動作の能力の向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的とした集中的なリハビリテーションを受けることができる病棟です。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などが共同で、それぞれの患者様に合ったプログラムを作成し、最適なリハビリテーションを提供します。



オープニングスタッフを募集しています！

看護師・准看護師
理学療法士・作業療法士

50歳をすぎたら泌尿器科の診察を受けましょう！

もしかしたら前立腺がんかも？ あなたは大丈夫？

50才以上の男性では5人に1人が前立腺の病気といわれています。



こんな症状で
お悩みでは
ありませんか？

- ☐ 最近オシッコがチョロチョロとしか出ない
- ☐ オシッコをしたあとまたすぐトイレに行きたくなる
- ☐ 夜中にトイレに行くために起きる

ひとつでも該当する方、その他泌尿器のことでお悩みの方は
八幡中央病院／泌尿器科まで。

外来診療日
毎週 月・水・土



医聖会グループ 地域の医療・介護・福祉をトータルサポート

学研都市病院
人工透析センター、健診センター、痔・痔瘻センター
〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
TEL 0774-98-2123(代) FAX 0774-98-2101

社会福祉法人 京都山城福祉会
特別養護老人ホーム **ゆりのき**
〒619-0225 京都府木津川市木津川台1丁目19番1
TEL 0774-75-1132 FAX 0774-75-1134

百万遍クリニック
〒606-8225 京都府京都市左京区田中門前町103-5
京都バスターミナルビル1F
TEL 075-791-8202 FAX 075-705-0025

真鍋整形外科医院
〒573-1115 大阪府枚方市東船橋2-149-7
TEL 072-867-5551 FAX 072-867-5531

介護老人施設 **石清水**
〒614-8114 京都府八幡市川口別所66
TEL 075-972-2111(代) FAX 075-971-2003

病児保育室 **たんぽぽ**
〒614-8114 京都府八幡市川口別所67-1
TEL 075-981-7006 FAX 075-981-7006

八幡中央病院
〒614-8071 京都府八幡市八幡五反田39-1
TEL 075-983-0119(代) FAX 075-983-0310

介護老人施設 **とちのき**
〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
TEL 0774-98-2600 FAX 0774-98-2601

精華町病児・病後児保育室 **ひまわり**
〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
TEL 0774-93-1226 FAX 0774-93-1226

京都八幡病院
人工透析センター、健診センター
〒614-8114 京都府八幡市川口別所61
TEL 075-971-2001(代) FAX 075-983-0185

介護老人施設 **梨の里**
〒614-8036 京都府八幡市八幡木内25-1
TEL 075-982-0125 FAX 075-982-0208

各病院の詳細内容はホームページを参照して下さい
医聖会ホームページ www.iseikai.jp

医聖会 検索

医聖会理念

患者さまと病院職員は、心の通い合う医療を通じて、お互いの信頼のもとで、ともに手をたずさえて病気の克服に努めます。 医療法人 社団 医聖会

医聖会グループでは看護師を募集しています。お問合わせ・資料請求は医聖会人事課 ☎075-971-5565まで

内視鏡検査でここまで進んだがんの早期発見

胃カメラ(消化器内視鏡)が日本で実用化されたのは1949年。現在のように、テレビ画面でリアルタイムに消化器の様子が観察できるようになったのは1980年代です。さらに画像のハイビジョン化、狭帯域光観察(NBI)による腫瘍の診断など、消化器内視鏡は飛躍的な進歩を続け、患者様にとってより苦痛の少ない検査です。学研都市病院では副院長の竹村俊樹医師を中心に、消化器内視鏡検査チームが検査に当たり、がんの早期発見に大きな成果を挙げています。今回は、座談会の形で話し合っていました。



プロ集団だからより確かで安全な内視鏡検査

竹村先生は日本消化器内視鏡学会・指導医・専門医として
長く内視鏡検査に携わってこられました。
まず、この検査チームの意義と特徴について教えてください。

竹村医師:本格的に内視鏡検査が普及して30年余り。内視鏡自体も進歩向上し、検査がより確実になったのを実感します。しかし、いくら機械の性能が向上しても、医師ひとりではできない検査です。例えば、内視鏡検査に通じた看護師が患者さんのケアをしてくれる、合併症を防ぐために臨床工学技士が機械の洗浄やメンテナンスを担当してくれる、そういった専門職の手助けがあって、安心して内視鏡検査に集中できます。このチームでは、看護師の明石さんも豊田さんも、消化器内視鏡技師の認定試験に合格しているプロですから、こちらが「ちょっとこの検査を…」と思えば、その準備がすでに整っているという具合で、検査時間も短縮され、患者さんの負担も軽くなるというわけです。

鈴木医師:消化器内視鏡技師の明石さんや豊田さんが患者さんにちょっと声をかけてくれるだけで、患者さんもリラックスされるようで、表情が和らぎます。臨床工学技士は国家資格で、内視鏡だけでなく院内全体の医療機器のメンテナンスをおこないます。

明石さん、豊田さん、三嶋さんは
どういったことに注意して
検査に立ち会っていらっしゃるのか。

明石看護師:内視鏡を口から挿入するということで、患者さんは少なからず緊張されます。私たちの役割は、患者さんにリラックスして検査を受けていただけるように、声かけをしたり、体をさすったり、体位に注意したり…。また、内視鏡検査の流れを捉えている専門職として医師のサポートもします。

豊田看護師:内視鏡に関する知識をしっかりと学び理解して、先生にも患者さんにも安心していただくことが重要。検査前に、患者さんの状態の把握や事前の注射をしますが、安全且つスムーズに検査が進むように心がけています。また、先生の表情にも注意し、何が必要かを察して、準備を先に先に進めるようにしています。

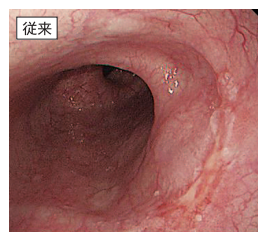
三嶋臨床工学技士:日頃から内視鏡のメンテナンスに万全を期するとともに、検査時も立ち会い、機器の不具合がないか、感染につながることはないか注意深く見守っています。また、機器の進歩に遅れを取らないように平生から勉強も欠かせません。

竹村医師:チームワークが大切な検査ですから、こうして意思疎通の図られたメンバーで検査をすることで、精度も上がってきます。

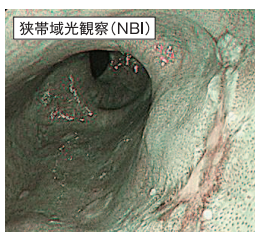
がんの早期発見・早期治療には定期的な検査が必要なんです!

内視鏡検査で分かることは? また、近年の新型内視鏡システムについてもお教えください。

鈴木医師:咽喉がん、食道がん、胃がん、十二指腸がんまで診断できます。近年の内視鏡の発展は目覚しく、画質・操作性が格段に向上。光の当て方で病変部を浮き立たせる狭帯域光観察(NBI)により、腫瘍の診断が容易になりました。NBIは特殊な機械で血管の模様だけを強調する光のことです。従来は薬品をかけて病変部を検査したり、患者さんの負担が大きかったのですが、いまは、そういった負担をおかけすることは少なくなりました。口からの挿入のしやすさも、日進月歩で向上しています。



従来



狭帯域光観察(NBI)

病変部を検査したり、患者さんの負担が大きかったのですが、いまは、そういった負担をおかけすることは少なくなりました。口からの挿入のしやすさも、日進月歩で向上しています。

竹村医師:内視鏡検査で初めて発見されるがんは、ほとんどの方が早期発見で、早期治療が可能です。昨年の実績で960人の方の検査をおこない、0.6%の方にがんが見つかりました。内視鏡で腫瘍のできた粘膜を剥ぎ取る手術も可能です。超音波内視鏡では、表面上には見えない粘膜下のがんがどのくらいまで深く進展しているかを確認することもできます。のどや食道の状態、胃の状態を一度検査しておく、がんのリスクも分かります。胃がんの原因と分かっているピロリ菌の発見と除菌も当院でできます。負担が少ない検査ですから、手術ができない高齢者の方にもお勧めです。まずは、健診を兼ねた内科の受診で、気軽にご相談ください。

明石・豊田看護師、三嶋臨床工学技士:私たちが皆さんの苦痛が少なくなるように検査のお手伝いをします。ぜひ、早めどうぞ!



竹村俊樹 医師

略歴

学研都市病院副院長・
内科部長・消化器科部長
日本消化器病学会評議員・
指導医・専門医
日本消化器内視鏡学会・
指導医・専門医ほか



鈴木教久 医師



明石夏子 看護師



豊田祐子 看護師



三嶋裕也 臨床工学技士

頼りになる
チームです!



早期発見のために学研都市病院での検査を

詳細はお電話で
おたずねください

0774-98-2123

特別講演開催のお知らせ: 日時 2014年9月20日(土) 15:00~

免疫力から考える ~これからのがん治療~

無料

※定員になり次第
受付を終了します

現在のがん治療には、外科手術・放射線治療・化学療法などが併用されていますが、その中でも近年、副作用の少ない「がん細胞免疫療法」が注目されています。これは、患者様のリンパ球を体外で活性化し、体内に戻した際に自身のがん細胞を攻撃できるようにする仕組みです。今回の特別講演では、患者様のQOL(生活の質)にも考慮したこれからのがん治療について、免疫力という側面から解説します。



坂元直行 医師

認定

- 日本内科学会認定医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本ハイパーサーミア学会認定医



会場 学研都市病院 ロビー 講師 医聖会グループ 百万遍クリニック 院長 坂元直行

お申し込みはお電話にて
医聖会本部まで ▶ 075-971-5565